



高岡  
北  
ロータリークラブ  
TAKAOKA-NORTH  
ROTARY CLUB



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

例会日・毎週月曜日 12:30～13:30  
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創立・1980年5月19日  
認証・1980年6月12日  
国内創立順位・1489

会長 新原 俊夫  
幹事 片岡 長司  
会報委員長 荒木 信幸

## 第1842回 例会 3月7日(月)

◇点 鐘 新原会長

◇国歌斉唱

◇ソング “四つのテスト”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：オタヤこども食堂 田辺 恵子 様  
// 高澤 満里子 様

◇会長挨拶並びに報告

皆さんこんにちは。今日は、環境保全委員会担当の卓話です。オタヤこども食堂の田辺様と高澤様にゲストとして参加いただいております。後ほど、卓話をよろしくお願いいたします

本日の理事会は、次年度との合同理事会です。

年度が終了する6月まで3か月と少しですが、簡易例会を行い、弁当持ち帰りで対応していきたいと思っております。

早くコロナが収束し、会食できる例会を開催できるように願っております。

◇3月在籍表彰

幸塚 栄三君(31年) 日下 要君(24年)

◇3月結婚記念日祝い

和田 徹君(5日、50年)

山辺 知代君(6日、29年)

唐澤 英夫君(20日、54年)

斉藤 寿雄君(21日、45年)

日下 要君(24日、57年)

福田 宏治君(28日、20年)

◇3月誕生日祝い

日下 要君(1日)

荒木 信幸君(6日)

福田 宏治君(13日)

上田 正宙君(14日)

吉谷奈穂子君(14日)

勝山 功君(31日)



◇幹事報告

1) 本日例会終了後、現・次期合同理事会を開催いたします。今年度と次年度の理事役員の方はよろしくお願いたします。

2) 次回3月14日(月)例会は、高岡向陵高等学校インターアクトクラブの方々をお迎えし、「インターアクト活動報告」をしていただきます。よろしくお願いいたします。

3) 回覧：①ガバナー月信NO.9

②会報NO.24

③5/14～5/15開催「地区大会」の出欠確認表

◇ニコニコBOX報告

新原会長：オタヤこども食堂の田辺様と高澤様、今日の卓話よろしくお願いいたします。

野尻信晴君：田辺さん、よろしくお願いいたします。

戦争という名で他人の建物を壊し、人殺しをしても良いのかネ。

板坂敏雄君：誕生日祝いを頂いて！！

村牧啓功君：ワクチン3回目、終わりました。これでカンベキ！？

山辺知代君：結婚記念日のお祝をいただきありがとうございます。

遅刻のお詫び

【今年度ニコBOX累計額 302,736円】

◇出席報告 出席者 22名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	2/21例会 修正出席率
1名	35名	78.57 %	82.14 %

※内、Zoom出席者0名

## ◇本日のプログラム (担当：環境保全委員会)

### 卓話「オタヤこども食堂について」

#### オタヤこども食堂

田辺 恵子 様

高澤 満里子 様



皆様こんにちは。去年の

11月以降、オタヤこども食堂を解籍いたしましたして7年目に入りました。今現在の環境と状況をお話いたします。

1月22日現在、130回目のこども食堂を開催しました。来てくれた子供たちや親、ボランティア、高校生などを含めると利用者はトータルで21,111名に上っております。

実際に平均すると150名前後の利用者がいます。ただし今年に入ってから幼児や小中学生のコロナ感染が非常に増えているので、少なくなってきています。2月に入ってから、子供たちの感染を絶対に避けたいので、開催しておりません。

全国で6,000件のこども食堂が立ち上がっております。これは、コロナ禍であっても増え続けております。富山県には25か所のこども食堂があります。25か所というのは47都道府県中ワースト1です。なぜ富山県が少ないかという、生活保護受給率が非常に低いことが関係しています。豊かだから低いではありません。戦後、アメリカのベネディクト研究員が発表した本に書かれている言葉で「恥の文化」というものがあります。「恥の文化」とは、恥を基調とする国民性でのことです。例えば、登山者は人が見ていると絶対にごみを捨てませんが、人が見ていないとごみを捨てていくそうです。こども食堂というと、どうしても貧困という問題がついてきます。こども食堂に行くと「貧乏人が来ているのか」「うちは貧乏だから子ども食堂を利用しているのか」ということを言われる懸念があり、また、地域によっては「貧乏人ばかり集めてそのようなことをしてもらったら困る」と言うところまであります。

今現在は、状況は変わってきております。昨年4月、コロナの緊急事態宣言が発令され、全国のこども食堂の9割が開催されておられません。その半数は、食材の配布や弁当配布といった形態を変えての活動を続けているのが現状です。私たちのこども食堂も昨年は5回ほどフードパントリー形式で行いましたが、今年の2月に関しては富山県のコロナ感染者数が多く、しかも自分たちの周りの保育園、小学校、中学校が学校閉鎖される状況を判断し、開催することを断念しました。3月は、食堂の開設は難しいと思い、フードパントリー方式を開催する予定です。幸いなことに皆様から頂いた温かいご支援がございますので、それを使わせていただきます。

いつも150~200名の利用者がいますが、カレーを提供するとカレーを20コほど使用します。それをフードパントリー方式で開催すると、200人のお子さんに配布することになりますので、200コのカレーが必要になります。そうしますと、資金面など問題が多発し、なかなか開催することが困難になることが予想されます。今後、コロナと上手に向き合いながら開催できたらと思います。

私たちは、貧困であろうがなかろうが、子供たちが安心して楽しく食事が食べられる、そのような居場所をなんとか存続しようと考えております。

今年の2月、八尾高校へ出前講座という形で講演を行いました。そこで生徒たちから上がった質問をご紹介します。Q.お金に関して

食事が無料だったり低料金ですが、働いている方々の給料はどこから捻出するのですか？赤字にはならないのですか？利益はありますか？

A.働いている方は無償のボランティアです。駐車券をお渡しするのみです。人件費は発生していません。食材について、野菜や米などは寄付をいただいています。足りない肉と魚は購入しています。ボランティアの人数は前日にならないとわかりません。献立は1週間前に決めます。材料の購入も1週間前に発注します。金曜日に食材を運びます。

フードパントリーに関して、高岡市危機防災会から頂いた水15箱と、全国のこども食堂にいただいた、なめこの缶詰、お米5~6キロ、今回はひなあられ、お寺おやつクラブに集まったお菓子を寄付いただいたものをお配りする予定です。

Q.どのような方が作っているのですか？

A.調理師免許、衛生安全責任者を持っている方はごく少数で、ほぼほぼ主婦が作ります。

また、人によって食べる量が違うので、一定量をお盆でお渡しするのですが、お代わりできるものとできないものがあり、カレー、みそ汁、ご飯は基本お代わりできますが、メインのお肉などは難しいです。

Q.利用できるのは何歳から何歳までですか？

A.幼児~高校生は無料、それ以上の付き添いに関しては300円をいただいています。

Q.こども食堂の初期費用は？

A.最初、補助金は出ません。1年経過して初めて富山県と高岡市より10万円ずついただきました。

Q.高校生が働くことはできますか？

A.高校生のフロアサービスはとても助かっています。来てくれる子供たちは幼児が多いので、高校生が大好きです。

Q.イタリアンはありますか？

A.残念ながら立派なものはありません。高校生が期待するようなものはなく、「~風」はあります。

皆さんが子供たちを育てていたころは、隣近所が密な状況でした。今子育てを一人で孤虫に行うのではなく、多くのサポートをしていただく環境が必要だと感じております。まわりも手を差し伸べたいのですが、個人情報保護法など、なかなか難しい状況です。私たちが思うのは、助け合いは干渉ではなく、個人情報の侵害ではなく、互いにできることをできる人が行い、今現在忙しくてできない人も将来的に助けることが出来る立場になると嬉しいです。

私たちは今、できる世代だと思っています。こども食堂を7年続けて変わったことは、最初非難中傷がたくさんありましたが、今は、寄付をいただいたり、食材や機材をいただいたりしています。これからも、今現在、大変な思いをしている家庭の手助けをしていきます。

実際、いろいろな形で協力をしていただいた方がいらっしゃいます。

最初にお手伝いをしてくれたのは南砺福野高校の生徒です。折り紙をしてくれ、お雛様や六文銭の兜など作ってくれました。



高岡西高校の生徒たちは毎回来てくれて、フロアサービスをしてくれたり、遊んでくれたりしています。

それから、八尾高校、富山北部高校、大門高校、富山商業高校、高岡向陵高校、志貴野高校の生徒も、毎回ではないですが、来てくれています。それからガールスカウトの皆さんも協力してくれています。

今はコロナ禍で着てはいただけませんが、龍谷高校の調理科の生徒に丸一日お願いしたことがあります。レストランに出すようなカレーを作ってくれました。

富山短期大学の食物栄養科の生徒たちも、ちょうどひな祭りのころちらし寿司を作ってくれました。

赤十字の方々は、防災に関するお話をしてくださったり、新聞で作るスリッパなど、防災のグッズを作ってくれたりしました。

すごいなと思ったのは、警察にある、高岡青少年サポートセンターです。少し危ないことをするような子供たちにマンツーマンで接し、いろいろな働きかけをしている所です。そこに関する警察の方以外のボランティアの方がたくさんおられます。その方たちは、絶対に子供を叱ることがありません。それを見て私たちも学ばせていただきました。

そして、高岡北ロータリークラブの皆さん、ご協力ありがとうございます。

今後どうなっていけばよいか考えたとき、本当は子ども食堂が無くなればよいと思っています。子ども食堂に頼らなくても生活していく上で、隣近所や行政がきちんと支援してくれればよいと思います。しかし、まだまだその状況ではありません。

これからを考えると、次世代につなげたいのですが、なかなか難しいです。ボランティアには来てくれますが、後継者としては引き受けてはいただけないようです。

最終的な課題は、人材の問題、継続の問題で、とても大きくなっております。



## = 現・次期合同理事会の報告 =

### 《2021-22 年度》すべて承認

#### 1. 地区大会全員登録について

- ・全員登録→個別登録

#### 2. 高岡西 RC 創立 55 周年記念式典について

日時 4月13日(水)

出席者 会長・幹事

- ・ご祝儀をどうするか。→10万円

#### 3. トング王国海底火山大規模噴火義援金について

- ・1人500円(送金締め切り3月31日)

#### 4. 各種団体への寄付について(確認事項)

《今年度寄付》

①万葉集朗唱の会協賛金(10,000円)→開催中止

②植樹例会：おとぎの森公園(137,988円)

③アレッセ高岡への支援(187,000円)

(クラブ負担 93,500円、地区補助金 93,500円)

④オタヤこども食堂への支援(118,800円)

(クラブ負担 61,270円、地区補助金 57,530円)

#### 5. 今後の例会について

- ・各委員長に確認

### 《2022-23 年度》すべて承認

#### 1. 理事役員委員会構成(案)について

#### 2. 地区補助金申請について

- ・受付期間：2022.2.1~4.1迄 限度額：¥436,270

①アレッセ高岡への支援

②オタヤこども食堂への支援

③植樹活動

上記、すべて申請可能だが、半額をクラブ負担しなければならない。

#### 3. 米山記念奨学会カウンセラーについて

- ・早川会員、八塚会員の2人体制とする。

#### 4. 合同例会について(確認事項)

- ・例年、高岡万葉 RC(秋)と高岡西 RC(春)に合同例会を開催している。

→2021-22年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止

- ・2022-23年度

高岡万葉 RC との合同例会(ホスト：高岡万葉 RC)

高岡西 RC との合同例会(ホスト：高岡北 RC)